

平成19年度当初予算 施策別概要

421 自然環境の保全・再生と活用

(主担当部：環境森林部)

- 42101 野生動植物保全活動の推進 (環境森林部)
- 42102 自然とのふれあいの確保 (環境森林部)
- 42103 河川、海岸の保全・再生 (県土整備部)
- 42104 自然環境保全の研究の推進 (政策部科学技術振興センター)

< 施策の目的 >

(対象) 県民が

(意図) 自然環境を地域の自然的社会的条件に応じて保全・活用している(地域の自然的社会的条件に応じて保全・再生・活用された自然環境に囲まれ、生活を営んでいる)

< 施策の数値目標 >

施策目標 項目 (主指標)	多様な自然環境の保全面積	目標値	53,535ha
		現状値	53,458ha(2005年度)

「自然公園特別地域面積」、「自然環境保全地域特別地区面積」、「里地里山保全活動計画認定面積」の合計面積(環境森林部自然環境室調べ)

県の取組 目標項目 (副指標)	里地里山保全活動計画認定団体およびみんなで自然を守る認証団体累計数	目標値	47団体
		現状値	17団体(2005年度)

< 現状と課題 >

- ・ 県民の自然環境に対する認識の高まりに伴い里地里山など身近な自然の大切さが見直されていることから、県民やNPOなど多様な活動団体が主体となった保全活動がより一層重要になっています。
- ・ 開発などに伴う環境への負荷の増加により、野生動植物の生息環境が悪化しているなど、野生動植物の保護が喫緊の課題となっていることから、自然環境保全のための調査や情報の整理、さらに開発などを行う際には自然環境への影響の低減に配慮して野生動植物の保護をはかる必要があります。

< 平成19年度の取組方向 >

三重県自然環境保全地域などの保全・管理や、里地里山などの身近な自然を守る県民による活動を支援して多様な自然環境を保全します。

「三重県レッドデータブック 2005」で明らかになった希少野生動植物を保護し、生物の多様性を確保します。

自然公園などの豊かな自然と県民とのふれあいを促進するため、自然公園などにおける施設の整備や維持管理を行います。

自然豊かな水辺空間の創出や河川、海岸の景観・環境を保全するために、生態系や景観に配慮した河川、海岸整備を進めます。

<主な事業>

自然環境重要地域保全事業【基本事業名：42101 野生動植物保全活動の推進】

当初予算額： 1,833千円 1,566千円

事業概要： すぐれた自然環境を有する地域を保全するため、自然環境保全地域の新たな指定や適正管理を進めます。また、里地里山保全活動計画に基づく活動を支援します。

希少生物保全事業【基本事業名：42101 野生動植物保全活動の推進】

当初予算額： 5,807千円 3,858千円

事業概要： 県民と自然環境情報を共有することにより、県民の自発的な自然環境保全行動を促進し、人と自然が共生できる地域環境づくりを進めます。

自然公園利用促進事業【基本事業名：42102 自然とのふれあいの確保】

当初予算額： 28,554千円 27,351千円

事業概要： 県民が自然公園とのふれあいを促進するため、自然公園施設の適正な管理を行います。また、自然公園内での一定の行為を規制し、自然保護に努めます。

県単自然公園等利用施設整備事業【基本事業名：42102 自然とのふれあいの確保】

当初予算額： 19,650千円 13,755千円

事業概要： 国の直轄事業に含まれない地域において公園整備を行うとともに、既存施設の補修や小規模な公園整備を行います。

自然文化に親しむ施設整備事業【基本事業名：42102 自然とのふれあいの確保】

当初予算額： 12,000千円 9,600千円

事業概要： 国定公園内の施設整備および長距離自然歩道の災害復旧を行い、利用者の安全な使用を促進します。

都市河川改修事業【基本事業：42103 河川、海岸の保全・再生】

当初予算額： 640,000千円 780,000千円

事業概要： 洪水等による災害を防止・軽減するため、河川堤防の整備を行います。なお、整備にあたっては自然環境や生態系に配慮します。